

2025年 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2025年12月15日

事業所名：運動遊びと療育支援 こどもプラス三郷第2教室

対象人数（保護者）20人 回答者数 17人 回収 85%

		チェック項目	とても満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	ご意見	教室からのコメント
満足度	1	お子様は安心感をもって通所していますか？	17						・今後もお子様にとって、ほっとできる安心安全な場所でありたいと考えております。
	2	お子様は楽しんで通所していますか？	17					・アプリの連絡帳ではいつも楽しんでいる笑顔を撮影して頂き、その様子を見る事が毎回楽しみです♪	・お子様の「楽しい」気持ちが一番大切と考えております。職員一人一人が常にその意識を持ち、心に寄り添ったサポートができるよう尽力いたします。
環境・体制整備	3	怪我がないように安全に配慮した空間と活動の提供がされていますか？	14	3					・クッションフロアの使用、ロッカー類の固定、教室に死角ができないよう工夫しております。また、活動前には怪我の予防の観点からお子様への危険性の周知、十分な準備運動を行っております。
	4	生活空間は、清潔で、整理整頓がされており、活動に適した空間になっていると思いますか？	14	3					・運動教具の整理整頓を行い、活動後には使用した運動教具の消毒を徹底しております。教室全体はお子様が集中可以ようシンプルな空間となっております。
	5	お子様にとって活動のスペースは十分だと思いますか。 尚、こどもひとり当たりの活動スペースは、2.47㎡以上と設備基準には定められています。	14	3					・お子様の安全に考慮し運動教具などの保管場所を確保しながらも、十分に活動できるスペースを設けております。危険個所については職員会議で共有し迅速に対応しております。
	6	職員の配置数は適切で十分だと思いますか。尚、定員10名以下の施設では、保育士または児童指導員の人員配置は2名以上と人員配置基準に定められています。	13	4					・県の指針に基づく人員配置基準を満たしておりますが、今後もより充実したサポートができるように人員を増やすとともに職員のスキルアップを図っていきます。
	7	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。 （※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかのわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。）	11	3			3		・掲示物等は最小限で留め、お子様が集中して運動に取り組めるように設計しております。また、当日の運動プログラムはホワイトボードに記載し、お子様がどんな活動をするのか分かりやすく説明しております。 ・待機場所についてはフロアマットの色を変えてお子様が視覚的に分かりやすいよう工夫しております。
適切な支援の提供	8	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	5				・子供達それぞれの特性を活かしどんな小さな成長も先生方皆んなで褒めてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。 ・よく見てくださりその時々の子供の様子に合わせた対応をさせていただけて、感謝しています。	・お子様や保護者様のご要望をお聞きし、ご家族と相談しながら適切な支援をするよう努めております。また、職員間での共有を丁寧に行っております。
	9	教室がホームページで公表している支援プログラム（※2）は、実際に提供されている支援内容と合っていると思いますか。 （※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。）	15	2					・「柳沢運動プログラム」を運動プログラム作りの基本としておりますが、お子様のニーズや課題に合わせて柔軟にプログラムを変更しております。お子様が何よりも楽しみながら運動が好きになってもらえるよう工夫しております。
	10	こどものことを十分に理解し、こどもや保護者のニーズや課題に沿ってが客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 （※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。）	13	4					・児童発達支援管理責任者を中心に個別支援計画作成の会議の機会を設け、職員全員で周知、共有を行っております。お子様お一人一人に合わせた目標とプログラムを立てておりますので、細かなご要望などございましたらいつでもご相談ください。
	11	児童発達支援計画に沿った内容で、支援が行われていると思いますか。	12	5					・面談でお話させていただいた目標と合致した支援をするよう努めております。
	12	社会的な活動や外部でのイベントなど、多様な活動が提供されていますか？※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	13	4				・毎回こどもが楽しみにしています！	・お子様が多様な体験ができるよう外部イベント等の機会を増やしていきたいと考えております。ご要望がございましたら遠慮なくお申し付けください。
保護者への説明	13	教室を利用する際に、サービスの内容と提供時間の範囲などが記載された運営規程、支援プログラム、利用者負担(費用)等について十分な説明がありましたか。	15	2					・契約時に単位表と合わせ説明させていただいておりますが、ご不明点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。
	14	「児童発達支援計画」を示しながら、支援目標や内容の説明がありましたか。	15	2					・お子様、保護者様のお困りごとに対して、面談の際に支援方法を説明させていただいております。
	15	教室では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等 ※4)や家族等も参加できる研修会や情報の提供が行われていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。 （※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。）	6	4			7	・特性や特性を持つ子どもへの関わりなどについて、親が学ぶような機会があるとありがたいです。	・ご家族も参加できるイベントのご提供はさせていただいておりますが、年一回と機会が少なく、研修会や情報提供は十分になされていないと感じております。今後、保護者様のニーズを丁寧にヒヤリングした上で準備を進めて参ります。
	16	日頃からお子様の状況について情報交換がされ、健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	6					・送迎時などに当日の支援内容やお子様のご様子についてお話をさせていただいております。支援記録を更に充実させると共に必要に応じてお電話などでも情報共有の場を設けていきます。
	17	定期的に、面談が行われたり、助言を受ける機会はありますか。	11	5			1		・可能な限り送迎時にお話させていただいております。面談やお電話、研修会などの場を設けていきたいと思います。
	18	教室の職員から共感的に支援をされていると感じますか。	15	2				・先生方皆さんが全ての子ども達を大切に見守り、共感しながら支援してくださっていると強く感じます。	・お子様一人一人の特性やご状況に合わせてご支援させていただければと思います。今後もお子様に寄り添った支援の実現に尽力いたします。
	19	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	4	6	1		6	・保護者会は開催されているかはわかりません。 ・同じ悩みを持つ親同士でお話する機会があったら参加してみたいと思います。	・ご家族で参加できるイベントのご提供はさせていただいておりますが、交流の場の提供は不十分であると感じております。今後、保護者様のニーズやご意見を丁寧にヒヤリングした上で準備を進めてまいります。
	20	相談や苦情解決の体制があり、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応がされていると思いますか。	12	2			3		・保護者様からのご相談等があった際には迅速に対応させていただいております。何かありましたら些細なことでもお申しつけください。真摯に対応させていただきます。
	21	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため、十分な配慮がなされていると思いますか。	13	4					・LINE、お電話及び日々の支援記録などで情報を伝達させていただくと共に、お子様のご様子を全員で把握し適切な支援ができるよう努めております。
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	3					・日々の支援記録で活動中のお子様の様子をお伝えするのはもちろんのこと、Instagramでもイベントや活動内容がわかるように情報発信を充実させていただきたいと思います。 また、今年度から開始しましたこどもプラス通信も活用しながら情報の発信を強化してまいります。
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	2			2		・個人情報保護の重要性を全職員で共有し個人情報の適切な取り扱いと保護に努めております。また、SNS等に公開する際には個人が特定できる箇所はスタンプで隠し公開をしています。公開の際は職員2名以上で間違いがないよう確認しています。

非常時等の対応	24	教室では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2			3		・マニュアル等に関して教室で閲覧可能ですのでお申し付けください。また、訓練等も安全計画に基づいて適切に行っております。
	25	教室では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出など必要な訓練が行われていますか。	11	1			5		・定期的に安全計画に避難訓練、防災訓練を実施しております。日時などの告知につきましては、現在ご利用者様全員が閲覧できるHUGの「活動記録」からご確認いただけるようになっておりますのでご利用ください。 また、訓練の様子はこどブラ通信にも記載させていただいております。併せてご確認ください。
	26	教室より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	4					・安全計画についてはいつでもご覧いただけるよう準備がございましたが、ご利用者様に広く伝わるよう周知の仕方について検討いたします。教室や車両については定期的に安全点検を行い、危険個所がないよう努めております。
	27	事故や怪我などが発生した際に、教室から速やかな連絡や状況等の詳細について説明が十分にされていますか。	13	4					・運動中に怪我が発生した際には支援記録やLINE等の手段を用いて早急にご連絡させていただき、経過も確認させていただいております。今後も事故防止に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス三郷第2教室

公表日 2025 年 12 月 15 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	6		目的、運動内容に応じて教室の縦と横を使い分けている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		より良い支援の実現のために必要な人員の補充は常に検討している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		整理整頓し用具配置を適切に行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		お子様がクールダウンできるよう別室で過ごせる時間と場所がある。 別室やドアで仕切りがされている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		個別支援計画に職員の意見が多く取り入れられている。 朝礼や療育前後の振り返りで情報の共有ができています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	各教室で把握し改善に努めている。 毎年保護者の意見の振り返りを行い改善に向けて話し合われている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のフィードバックで職員間で共通認識ができています。 ミーティングや管理者との定期的な面談で意見交換が行われている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第三者による外部評価は行っていないが今後検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		社内ツールを用いてを通じて常に研修案内や呼びかけがある。 運動研修への参加機会がある。 月に一度研修への参加がありレポートでの共有が行われている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HUGシステム上で職員や保護者の皆様にもご確認いただいている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		職員会議時に児発管を中心に時間をかけて丁寧な周知、共有が行われている。職員全体で意見を出し合い、お子様に最適な計画、支援を行うよう検討されている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		会議の時間の中で丁寧な共有と相談を行うことができています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		何かあればすぐに共有いただいている為大変助かっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の状況については記録を取り全員が共有できる体制を整えている。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	全職員が個別支援計画書の内容に沿った支援ができるよう、共有の仕方や振り返りの仕方について今後も検討していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員会議で毎月共有している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	子どもたちが好きなメニューだが固定化されているかも？と感じることがあるのでプラスαを加えていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動は専門的支援他、制作やお部屋遊び時の対人関係面での活動、支援をしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		療育前後に必ず話し合う時間を作り、振り返りを行いながら丁寧な情報共有をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		療育前後に必ず話し合う時間を作り、振り返りを行いながら丁寧な情報共有をしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		その日の記録は具体的に残すようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	今後、勉強をして機会を増やしていきたいと考えている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	特に保育教育について連携、情報交換している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保育所への送迎時に利用児の様子などをお伝えし共有している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		学校訪問の機会があったので今後増やしていきたい。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		お電話等で情報の共有、または助言をいただく機会がある。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	公園遊びなどの機会を作ってもいいかなと思う。不特定多数で他のお子様との活動はしていないが、イベントとして外部の公園や生物園、防災センター等で他児と交わることはある。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	今後、機会を提供していきたい。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧にご説明できるようにしていきたい。

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時やHUGシステムを活用してお伝えするようにしている。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	保護者の交流が夏祭りのみなので交流の場を作りたい。 イベントで家族参加を促していきたい。 夏祭りでの保護者の交流、兄弟の交流を行っている。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者からもお子様の変化をご報告いただいている。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		教室としてインスタグラムの発信をしている。 もう少し日々の活動を発信していきたい。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	お子様の安全を鑑みた際に実践の難しさを感じている。地域との関係性を高め、検討していきたい。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		活動やイベントで取り入れるようにしている。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		計画に沿って策定し職員会議での周知、また全職員がレポート提出を行っている。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		保護者から服薬の情報をいただき職員への周知を行う。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食事の提供をしていない。配布する際は事前に成分をお知らせしている。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		